



エバラ食品グループの 事業概要と成長戦略

2024年 12 月 12 日

エバラ食品工業株式会社

証券コード：2819

本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み／ニッチ&トツプ戦略

③ 長期ビジョン／新中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み／ニッチ&トツプ戦略

③ 長期ビジョン／新中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

経営理念／会社概要

■ 経営理念 「**こころ、はずむ、おいしさ。**」の提供

わたしたちは、お客様への情熱とチャレンジ精神を力に、「人を惹きつける、新しいおいしさ」と「期待で胸が膨らむ、ワクワクするおいしさ」を通じて人と人との絆づくりの機会を広げていきます。

■ 会社情報

商号	エバラ食品工業株式会社
本店所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目4番5号
代表者	代表取締役社長 森村 剛士
事業内容	調味料食品の製造販売
設立	1958年(昭和33年)5月
連結従業員数	839名(2024年3月31日時点)

こころ、はずむ、おいしさ。



「おいしいものをさらにおいしく」のもと、事業を通じて「こころ、はずむ、おいしさ。」を提供

当社の提供価値と代表的な商品

「焼肉のたれ」「黄金の味」

当社を象徴するベスト&ロングセラー
「家庭で焼肉を食べる」という食文化を創造し、
家庭用焼肉のたれという市場を作り上げた商品

ポーション調味料 「プチッと鍋」「プチッとうどん」など
2013年度に発売以来、高まる個食ニーズに適した
ポーションタイプが圧倒的な支持を受け、現在に
至るまで売上を伸ばしている商品



1968~
「焼肉のたれ」発売

1978~
「黄金の味」発売

提供価値
創業者の斬新な発想により、
家庭で焼肉という
これまでにない食文化を創造

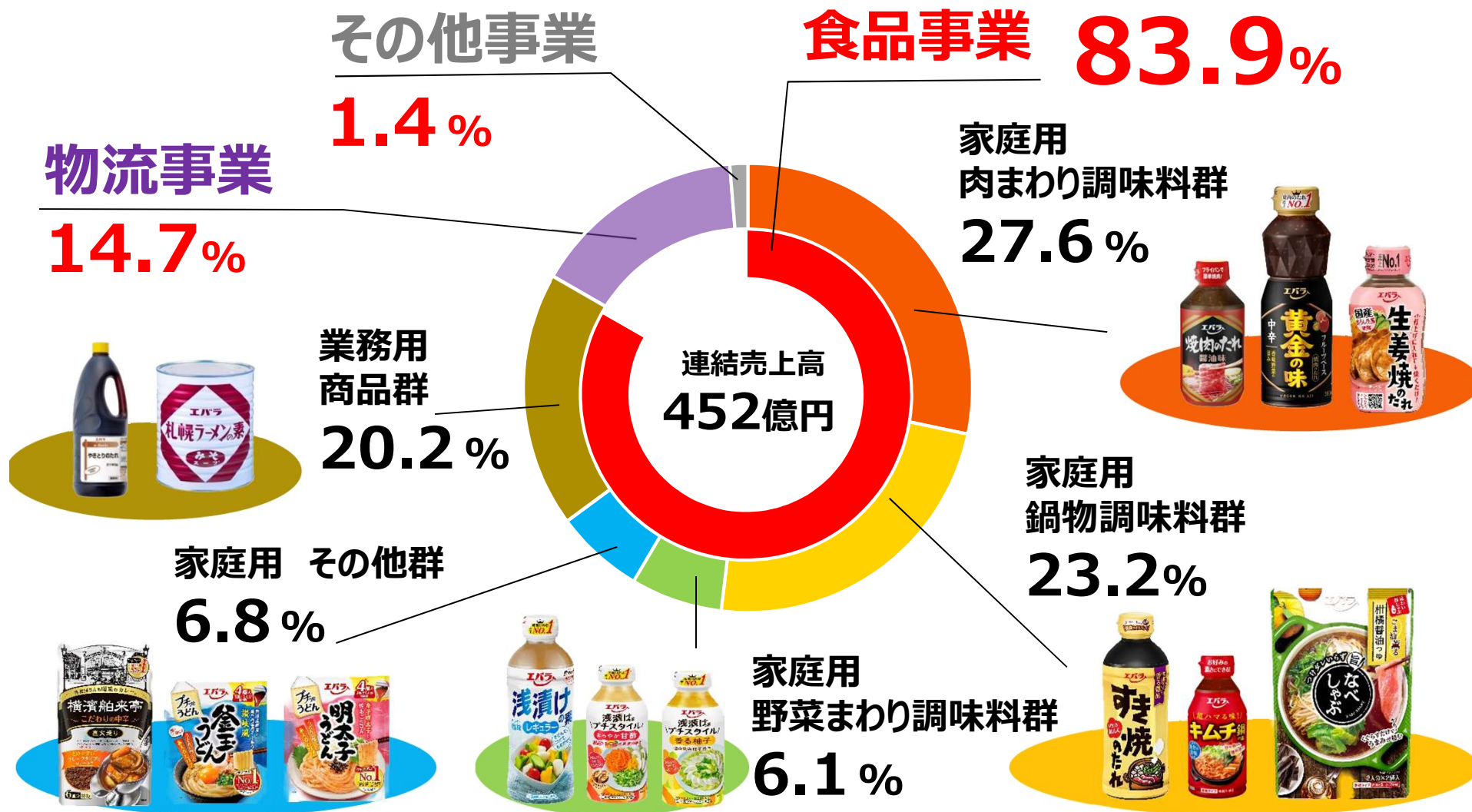


2013~
ポーション調味料 発売

提供価値
家族形態の変化や
多様化する消費者の嗜好など、
きめ細かい時代のニーズに適合した商品

創業より豊かな食生活の実現に向け新価値創造に挑戦

売上構成比 (2023年度)



食品事業は家庭用商品が約8割。肉まわりだけでなく、鍋や野菜まわり等、幅広く展開

本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み／ニッチ&トツプ戦略

③ 長期ビジョン／新中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

当社の強み (ニッチ & トップ戦略と市場シェア)

焼肉のたれ

44.5%



すき焼のたれ

59.3%



浅漬けの素

42.5%



プチッと鍋

51.7%



プチッとうどん

37.2%



ニッチ & トップ戦略で、各カテゴリーで圧倒的な市場シェアを獲得

当社の強み (ニッチ & トップ戦略とモノづくり)

■「黄金の味」のラインナップ



伝統と革新の施策で、コアファンに満足を与えるとともに新規ファンも獲得

当社の強み (ニッチ & トップ戦略とモノづくり)

■「黄金の味」の顧客層拡大

若年層・新規顧客の開拓

SNSを通じてのファンとのリアルミーティング



ファンとのBBQイベント



「焼肉ザクだれ」発売による新食感追加と食べ方提案



ニチフリ食品
「焼肉ふりかけ」



ジャパンフリトレー
「黄金の味 ポップコーン」



バンダイナムコ ガシャポン
「ダブルチャームスイング」



(参考) AWSOMEET (オーサミート)



 AWSOMEET

自社初のECサイトを開設

メディア・店頭露出アップのための他社との販促コラボレーション

複合的なプロモーションによってお客様とのコミュニケーションを深化

当社の強み (ニッチ & トップ戦略とモノづくり)

■ ポーション調味料の売上高推移

- ・小さく手軽で、持ち運びに便利
- ・保存がカンタン
- ・炊き込みご飯やアウトドアでの食事の利用など
活用の場はますます拡大



ポーション調味料群 年度別 出荷額推移 (メーカー出荷ベース)

個食ニーズの高まりを的確にとらえ、年率10%超で売上成長

当社の強み (ニッチ & トップ戦略とモノづくり)

■ ポーション調味料の開発までの経緯

■ 鍋つゆ市場の主流はストレートパウチ

家族がそろわないと鍋ができない

⇒ 一人前ずつポーション容器に入れることで解決できるのでは！？



課題

ポーションは20ml容器のみであり、約**8倍**に濃縮した上で、
かつ、ユーザーが食べるときに、希釈してもおいしくする必要がある



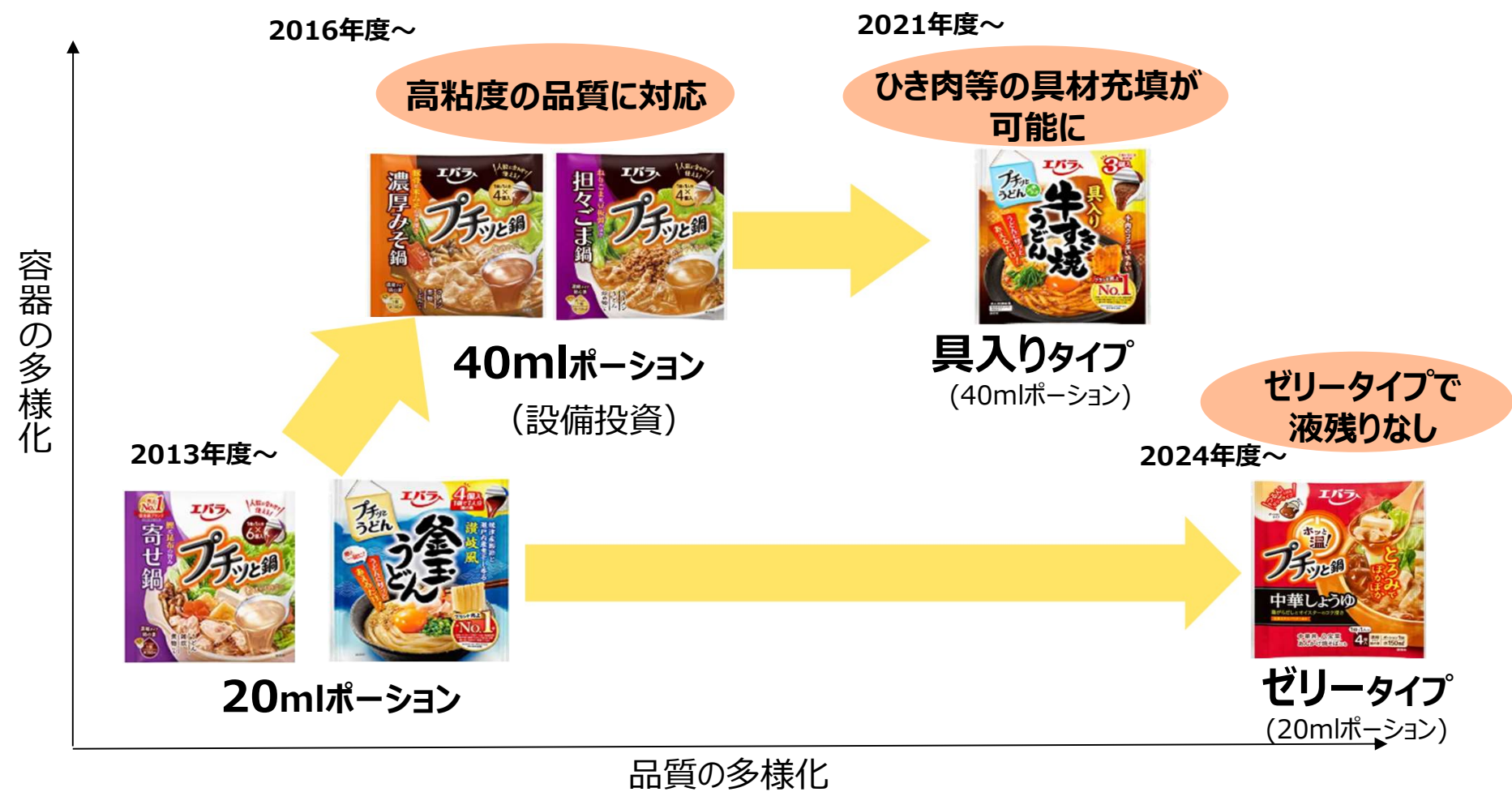
業務用商品で培った**高濃度調味料技術**を活用し、
幾度の試作を重ね商品化に成功



社員の探求心、お客様のお悩み(期待)に寄り添いたいという思いが、個食向け商品開発の機会に

当社の強み (ニッチ&トップ戦略とモノづくり)

■ ポーション調味料の進化



多様な容器の開発と充填技術の革新により、製品ラインナップの可能性を拡大

当社の強み (ニッチ&トップ戦略とモノづくり)



ポーション容器



濃厚な「みそ」が使用されていてもポーション容器に調味液が残りづらくする製造方法を開発し、特許を取得 (特許7032883)

開発過程で獲得した技術は、特許やノウハウといった知的財産として蓄積

商品別ポートフォリオと戦略の方向性

個食ニーズへの対応商品



成長投資を実施

新たなニーズへの対応商品



新機軸の商品開発

当社を牽引するベストセラー商品



収益性・汎用性を追求

高

期待される売上成長率

果敢な成長投資と
シェア維持・拡大の双方を
実施

高

市場シェア

商品のライフサイクルに沿った投資戦略を実施

ポーション調味料製造ラインの投資

◆津山工場 新ポーションラインを新設



ポーション調味料は、
栃木工場と津山工場、
関東関西の2拠点での
生産対応が可能となる

2024年10月稼働開始、2025年度 本格稼働の見込み

ポーション調味料 製造ライン動画

本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み／ニッチ&トツプ戦略

③ 長期ビジョン／新中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

エバラ食品グループの長期ビジョン(2024-2033年度)

ミッション

- 1 ヒトづくりとグループ連携—人材育成とグループシナジーの発揮
- 2 モノづくりの改革 — 大量生産から多品種少量生産に対応
- 3 新領域開拓— 健康領域を初めとした新たなビジネス創出
- 4 海外の成長— アジアでのエバラブランドの浸透と他地域展開
- 5 迅速な経営体制—データ活用型経営・業務プロセス改革

2033年度にありたい姿

**おいしさ、たのしさ、あたらしさで
食カテゴリーを創造する企業**

独自性のある商品・サービスで
人々の食生活に貢献し、
社会に必要とされる存在へ

連結
数値目標 EBITDA **60億円水準**
ROE **7%以上**

Final Phase
(2030~2033)
最高益更新

Next Phase
(2027~2029)
新領域開拓
事業成長

First Phase
(2024~2026)
成長への
基盤固め

新中期
経営計画

Ebara Reboot 2026

連結
数値目標

EBITDA(営業利益+減価償却費) **40億円**
海外売上高比率 **5%以上**
総還元性向 **50%以上**

新中期経営計画 (2024-2026年度)

新中期 経営計画

Ebara Reboot 2026

重要方針

「売上拡大 = 利益獲得」ではなく、
「適正な経営資源投下による売上形成・利益最大化」に取り組む

グループ 基本戦略

1. 既存事業/領域を磨き上げ、高収益化を追求
2. 新市場/新価値創造による新たな成長軌道の確立
3. 従来 of 枠組みに捉われない経営基盤改革の深化

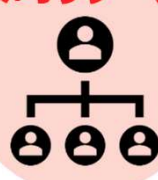
既存事業



新価値創造



人的リソース



ICT化



プロセス改革



連結数値目標

EBITDA 40億円 海外売上高比率 5%以上 総還元性向 50%以上
(営業利益 + 減価償却費)

タイ工場稼働 (海外戦略 + M & A)

◆タイ工場の稼働と株式取得 (粉末調味料の製造技術獲得)



+

国内M&A

✓ 新技術獲得と
商品開発力の強化



2022年5月株式取得
(ヤマキン株式会社)



2023年10月株式取得
(丸二株式会社)



◆今後の施策

1. 東アジア、東南アジアを中心に販路を拡大
2. 新たな商品ラインナップを拡充

将来の成長のため国内外で投資を実施

本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み／ニッチ&トツプ戦略

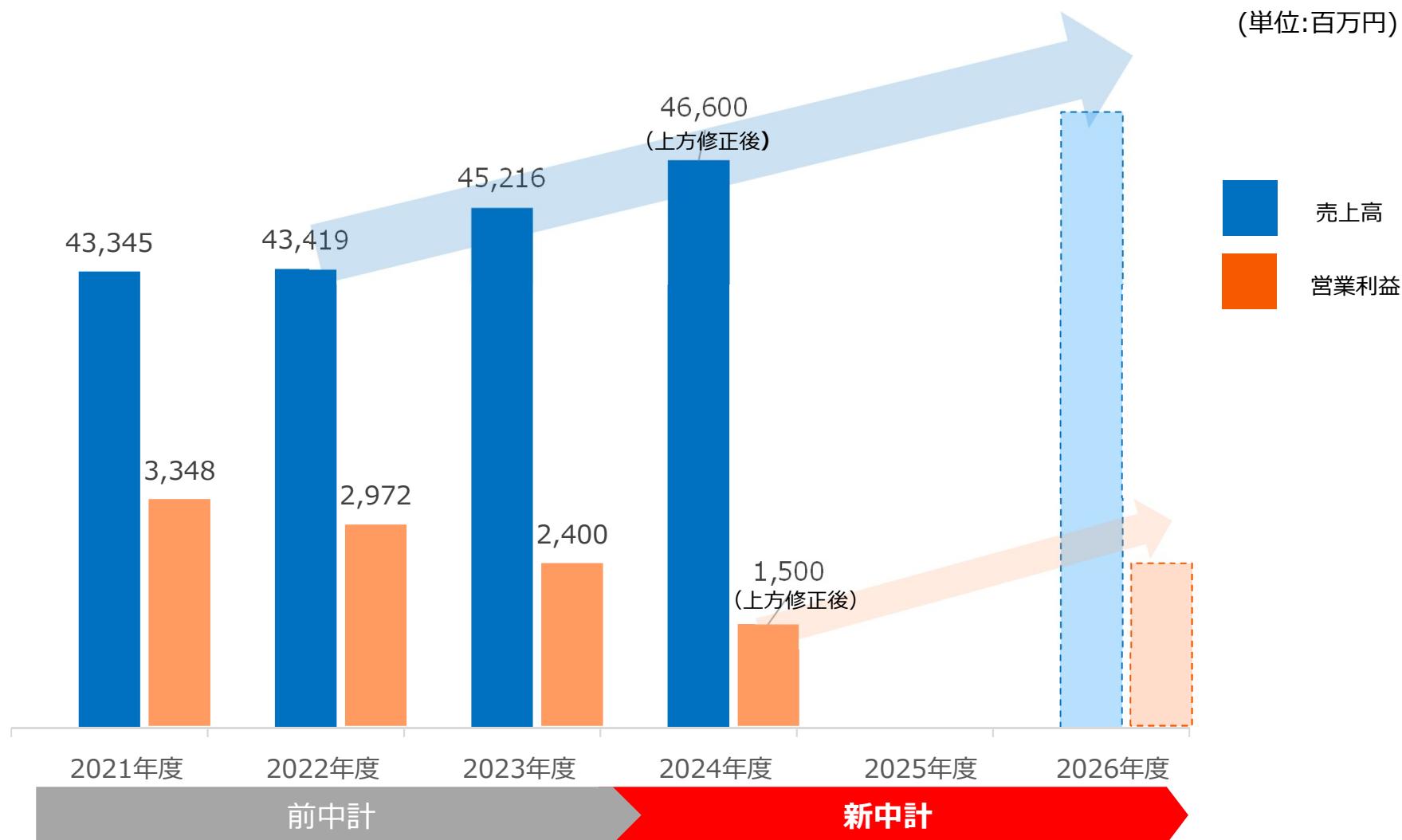
③ 長期ビジョン／新中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

業績推移



直近の収益は低下傾向も、新商品の販売や価格改定で増収増益を目指す

参考：商品価格改定

2022年度

2023年度

2024年度

1回目 (11月～)

・焼肉のたれ
など



2回目 (7月～)

・すき焼のたれ
など



4回目 (2月～)

・プチッと鍋
など



5回目 (2月～)

・プチッとうどん
など



 家庭用商品

 業務用商品

3回目 (9月～)

・浅漬けの素
など

※ ()内の月は、
納入を開始した月

1回目 (1月～)

・焼肉のたれ
など (e-basic)

2回目 (7月～)

・スープ群

3回目 (2月～)

・肉まわり調味料群
スープ群、その他群

業務用は順調に改定、家庭用は価格改定直後は数量減も半年～1年で回復

通期業績予想の修正について (2024/11/7開示)

単位：百万円

中間期までの実績と足元の動向を踏まえ、通期業績予想を上方修正

	前回発表予想 (A) 2024/5/15開示	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
売上高	46,600	47,000	400	0.9
営業利益	1,000	1,500	500	50.0
経常利益	1,100	1,500	400	36.4
当期純利益	700	900	200	28.6

(修正の理由)

価格改定や各種コストの削減効果もあり、利益が期初計画を上回って進捗したため

本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み／ニッチ&トツプ戦略

③ 長期ビジョン／新中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

株主還元

新中期経営計画では、
総還元性向50%以上を
目標に

年度	2022年度	2023年度	2024年度 (予想)
一株当たり配当金 (円)	40	40	40
配当総額 (百万円)	392	392	392
配当性向	18.0%	21.8%	43.4%
DOE	1.3%	1.2%	1.2%
自己株式取得額(百万円)	147	0	176
総還元性向	24.8%	21.8%	63.1%

※2024年度の配当性向、DOE、総還元性向は、支払配当額、自己株式取得価額の現時点までの実績と通期予想純利益をもとに算出

■ 2024年3月31日基準の株主優待品 (※)



保有株式数に応じた株主優待制度

- ・ 100株以上 300株未満
- ・ 300株以上1,000株未満
- ・ 1,000株以上

※300株以上の優待品の事例
販売価格3,000円相当の当社製品セット

株主還元指標を総還元性向に変更 / 保有株式数に応じた株主優待

本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み／ニッチ&トツプ戦略

③ 長期ビジョン／新中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

サステナビリティへの取り組み

当社グループをとりまく環境変化

外的要因

- ・ 気候変動
- ・ お客さまニーズの多様化 / 健康意識の高まり
- ・ 国内人口/労働人口の減少
- ・ デジタルシフト
- ・ 原材料、物流コストの上昇(インフレの拡大)

内的要因

- ・ 国内事業に依存した利益構造
- ・ 自社原材料を保有していない(サプライヤーに依存)
- ・ 従業員の流動化
- ・ グループ企業の増加

当社グループの重要課題(マテリアリティ)

<p>食の安全・ 安心の確保</p> 	<p>豊かな食生活と 心身の健康への 貢献</p> 	<p>持続可能な 原材料の 安定調達</p> 	<p>気候変動の 緩和と対応</p> 
<p>多様な食ニーズ への対応</p> 	<p>環境に配慮した 商品・サービスの 実現</p> 	<p>組織と人材 の活性化</p> 	<p>グループ ガバナンス 体制の強化</p> 

環境変化への対応力を向上させ、企業の持続的発展と環境・社会との調和を目指す

環境に配慮した商品・サービスの実現

ポーション調味料容器の 薄肉化*を実施



・薄肉化：プラスチック等の素材の厚みを薄くすること

- ・グループ全体で、容器包装の改良を進め、省資源化に注力
- ・プラスチック容器の薄肉化は、輸送中の破損の原因となるため、試作研究や輸送試験を重ねる
- ・2023年度から順次切替。
容器原料となるプラスチックを年間で約14トン削減する見込み

省エネルギー・省資源、リサイクルを推進し、環境対策に取り組む

組織と人材の活性化

茨城県かすみがうら市と公有財産賃貸借契約を締結



開業予定の施設イメージ画像



賃貸借契約締結式

- ・社内公募案件第一号
- ・アウトドア施設の運営は当社初
- ・自然の中で新たな「食」の魅力を伝えると同時に、共生・共創による地域の活性化に貢献

2025年秋にアウトドア施設「エバラアウトドアダイニング（仮称）」を開業へ

統合報告書「VALUE REPORT2024」について



パソコン・タブレット・スマートフォンからアクセス

エバラ 統合報告 で検索

<https://www.ebarafoods.com/company/ir/library/integrated/>



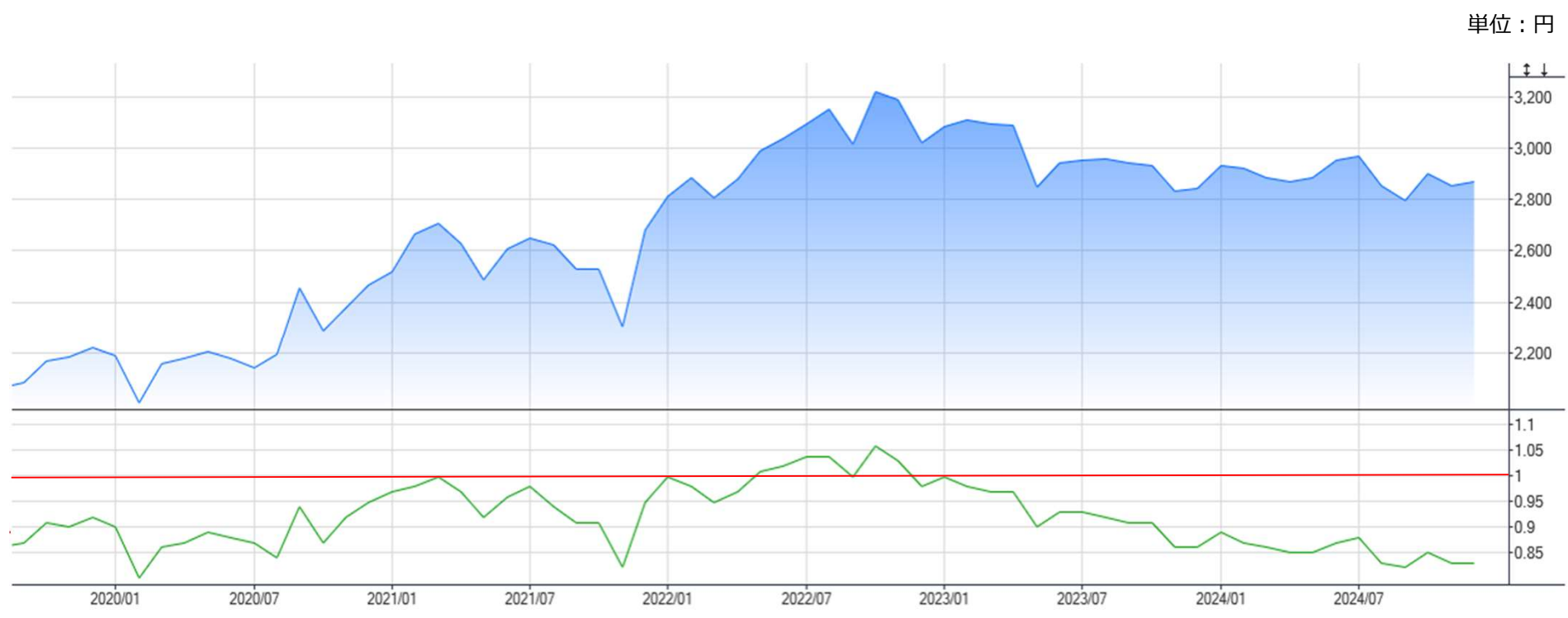
Appendix

当社の株価/PBR推移(直近5年)

上段：株価
下段：PBR

※QUICK多機能チャート参照

株価は5年前から30%以上上昇
PBRは1倍前後で推移



こころ、はずむ、おいしさ。

エバラ

※ この資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

※ 本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

● お問い合わせ先：広報IR部（TEL 045-226-0240）